



夢と希望を胸に初登校

信濃小中学校の入学式

信濃小中学校で4月4日、新小学1年生の入学式が行われました。新1年生は、真新しいランドセルを背負って、保護者と一緒に初登校。緊張した面持ちでしたが、次第にリラックスしていました。今年は、66人が夢と希望を胸に新たな生活をスタートしました。

楽しい保育園がスタート

町内4保育園で入園式

春は入園の季節。4月2日には柏原保育園と野尻保育園、4月3日には古間保育園と富士里保育園の町内4保育園で入園式が行われました。今年は、新入園児64人が、新たな保育園生活をスタート。柏原保育園では、31人の園児が一人ずつ名前を呼ばれて、手を挙げて元気にお返事をしました。その後、松木町長から、代表4名が黄色の交通安全帽をかぶせてもらい、立派に園児の仲間入りを果たしました。



連携して協働事業に取り組む

清泉女学院大学・清泉女学院短期大学と協定

清泉女学院大学及び清泉女学院短期大学と町は、3月31日、連携協定を締結しました。今後、癒しの森事業と同大の強みである心理学などの知見を活かすことで、森林セラピーの科学的調査を進めていきます。また、教育分野においても信濃小中学校のより良い教育環境の整備や、子どもたちの支援へと繋がりたいと考えています。その他にも、様々な分野での連携を模索しつつ、それぞれの特色や強みを活かした協働事業に取り組むと考えています。

救急法でより安全なガイドを

日赤救急法救急員養成講座を開催

「日本赤十字社救急法救急員」の養成講座が、4月5日、6日、13日の3日間にかけて、信濃町役場で開催されました。今回の講座では、森林セラピーのガイドを行う「森林メディカルトレーナー」など、町民8名の方が救急法に関するトレーニングを受けました。講習で身につけた知識と技術は、森林セラピーのガイドが森の中でお客様を安全に案内するために活用されます。



全国優良土地改良区で金賞受章

信濃町土地改良区が受賞

信濃町土地改良区(理事長石田正一氏)が3月27日、全国優良土地改良区金章受章の報告のために役場を訪れました。この表彰は、全国土地改良事業団体連合会から運営の向上や農業生産基盤の整備開発に寄与した組織に贈られるものです。3月25日、東京都の旧砂防会館にて表彰を受けました。現在、24の維持管理組合のみなさんの協力により維持管理運営されています。

みんなで交通安全を呼びかける

春の全国交通安全運動 合同交通指導所

4月は「春の交通安全運動」の期間です。4月9日、古間地区の交差点で信濃町交通安全協会・長野中央警察署・信濃町交番・ヤマト運輸(株)信濃町支店・町が合同で、交通安全指導所を開設しました。佐藤博一副町長、長野中央警察署長谷川署長のあいさつの後、交差点付近で交通安全の啓発活動を行いました。今回は、信濃町のマスコットキャラクターの「一茶さん」や、県警のマスコットキャラクターの「ライポくん」も参加して、一緒に交通安全を呼び掛けました。



除雪支援に対して感謝の意

山梨県富士吉田市の堀内市長より感謝状を受領

山梨県富士吉田市の堀内市長が4月17日、信濃町の除雪支援に対して、感謝の意を伝えるため役場を訪れました。信濃町は2月21日～23日の3日間、大雪の災害応援要請により職員2名とロータリー車等を派遣し、除雪支援を行いました。堀内市長は「今回、除雪に関して助けていただき助かりました。市民の皆さんも信濃町に対して親近感を持ち、ありがたいという気持ちを持ちました。これをこ縁に今後ともよろしく申し上げます」と感謝の意を表しました。松木町長も「私どもにも出来ることは、させていただきます。こちらこそ、よろしく申し上げます」と受けました。